



西之谷ダム作業所の工事だより(お知らせ)



工事名: 堰堤改良工事(西之谷ダムR6-2工区)

鯉のぼりが風に舞う季節が訪れ、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本工事のため格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて現在、5段目法面の吹付工(鉄筋組立・コンクリート吹付)をしており、まもなく5段目が完成するところです。5月度の工事の作業内容ですが、4月と同じコンクリート吹付工(法面部分)とモルタル吹付工(小段部分)の作業を行う予定です。引き続きクレーン車や資材搬入トラックの出入りがあるので、地域の皆様にはご迷惑をおかけするかと思いますが、今後ともご協力よろしくお願い致します。

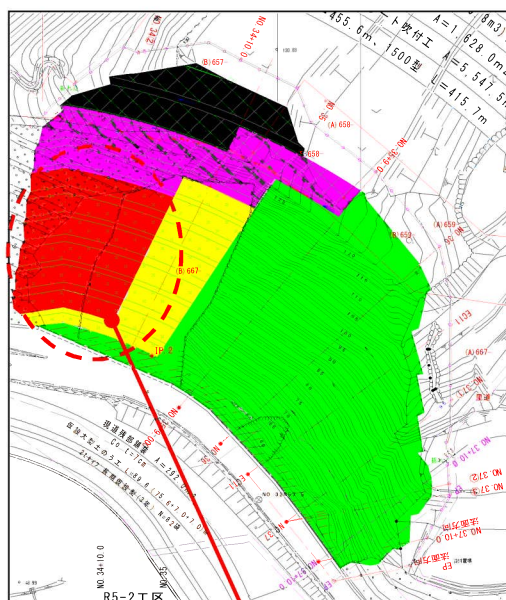
4月末までの進捗率

計画39.4%

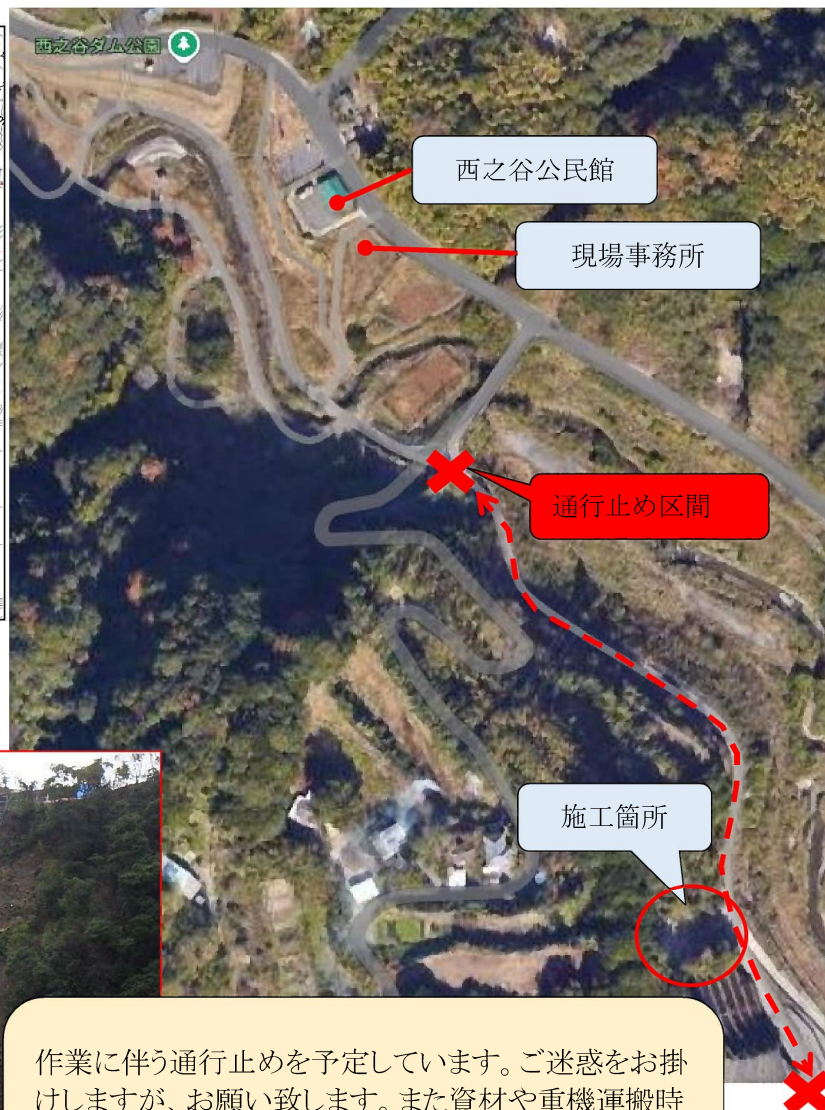
実施52.3%

5月末までの予定進捗率

計画74.1%



今回工事の施工範囲



作業に伴う通行止めを予定しています。ご迷惑をお掛けしますが、お願い致します。また資材や重機運搬時には大型車が入ってきますが事故の無いよう徹底して指導していきますので宜しくお願い致します。

4月度の実施作業内容：コンクリート吹付工(法面)の施工写真と施工手順

鉄筋組立



・鉄筋(D10)を500mmピッチで縦・横格子状に設置し、結束線で固定します。

アンカー打設



・主アンカーはD16 L=1000mmを100㎡当り50本、補助アンカーはD10、L=300mmを100㎡当り150本の割合で各配置された鉄筋交点へ打ち込み結束し、固定します。

吹付



・鉄筋の配筋完了後、コンクリートの吹込みを行います。吹付作業は、吹付ノズルをほぼ直角に保ちサンドポケットの発生や反発ロスの発生を防止するように十分注意し作業を行います。

ラス張り



・アンカー打設完了後、ラス金網を張ります。ラス重ね幅はW=100mm以上とし金網と鉄筋を結束し固定し、水抜きパイプ(VP50)を2㎡/1箇所、吹付厚み管理用のスパーサーを2㎡/1箇所取付ます。コンクリートの伸縮防止として目地材(t=10mm)は約10m毎/1箇所に設置します。

・吹付工について

吹付工とは、モルタルやコンクリートを練り上げておき、エアの圧力で送りそのまま地山に叩きつけて密着させ崖面や法面を覆う工法である。風化等により劣化した崖面に対しては、外気や温度変化、浸透水の遮断効果が非常に高く、施工性も優れていることから、採用実績の多い工法の一つである。また、切土のり面やトンネル覆工にも広く用いられている。

その施工は、空気圧縮機によってモルタルやコンクリートを高圧ホースまたはパイプを介して所定の位置まで搬送し、その打設、締固めは型枠を用いずに圧縮空気にて吹き付けることでなされます。吹付けの厚みは気象条件や法面の状況により決まりますが、一般的にはモルタル吹付工なら5～10cm、コンクリート吹付工では10～20cmを標準としており、コンクリート吹付工に関しては10cm以上で鉄筋が配置されます。

令和7年3月28日現在



令和7年4月28日現在



5月度の作業内容は引き続きコンクリート吹付工・モルタル吹付工を行います。工事中はご迷惑をお掛けしますが、引き続きご理解ご協力をよろしくお願いします。

